

平成 29 年 6 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス
 代 表 者 名 代表取締役社長 北 野 俊
 (J A S D A Q コード番号 : 7 6 2 3)
 問い合わせ先 管理本部 総務部長 久米 健夫
 T E L 0 4 5 - 4 7 3 - 1 2 1 1 (代表)

平成 29 年 4 月期 通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 4 月期 (平成 28 年 5 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日まで) の業績につきまして、平成 28 年 6 月 17 日付「平成 28 年 4 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました平成 29 年 4 月期の通期業績予想と実績値の差異が生じました。また、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 4 月期通期業績予想と実績値との差異
 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 6 月 17 日発表)	28,000 百万円	100 百万円	150 百万円	60 百万円	20 円 75 銭
今回実績 (B)	29,702 百万円	△156 百万円	△110 百万円	△243 百万円	△77 円 65 銭
差 異 (B-A)	1,702 百万円	△256 百万円	△260 百万円	△303 百万円	
差 異 率	6.1%	—	—	—	
(参考)前期実績 (平成 28 年 4 月期)	32,283 百万円	△289 百万円	△271 百万円	△368 百万円	△117 円 51 銭

2. 差異の理由

前期末に不採算店舗の S S を 6 店舗閉鎖したことにより、エネルギー部門の売上高予想を対前期比 25% 減少としましたが、既存店舗による閉鎖店顧客のフォローや新規顧客開拓の強化により予想売上高を 10% 近く上回ることができましたことと、輸入車販売部門の売上高において、プジョー成城店の新店舗出店やジープ車販売の新規参入によりフォード撤退に伴う予想売上高減少をカバーすることができました。

損益面につきましては、エネルギー部門の S S 店舗展開の合理化施策により収益改善が進捗し黒字化実現の途上にあるものの、人件費削減が追い付かず目標利益には及びませんでした。一方、輸入車販売事業では、主力である BMW 車販売において、輸入車ブランド間での競争激化の中、拡販期である 3 月の販売台数が新車販売・中古車販売とも目標販売台数を確保することができなかったことと同時に売上総利益率の目標も下回る結果となってしまいました。

また、特別損失として減損損失 124 百万円を計上することになり、親会社株主に帰属する当期純利益は 243 百万円の損失となりました。

3. 特別損失の計上について

平成 29 年 4 月期の通期において、収益性の低下がみられた店舗及び連結子会社の株式会社モトーレン東洋の将来の回収可能価格を検討した結果、帳簿価格を回収可能額まで減額し、減損損失 124 百万円を計上することとなりました。

以 上